

## 大学入学共通テストの実施

第23回北海道大学ーソウル大学校ジョイントシンポジウムを開催

第15回医学研究院連携研究センター研究成果発表会をオンライン開催

お知らせ

・過半数代表候補者の決定





令和2年度第2回サステイナブルキャンパス推進員会議を開催

## 全学ニュース

- 1 大学入学共通テストの実施
- 2 北海道大学一般選抜の志願状況
- 3 総合型選抜合格者の発表
- 3 国際総合入試合格者の発表
- 4 北大フロンティア基金
- 6 令和2年度第2回サステイナブルキャンパス推進員会議を開催
- 7 第23回北海道大学ーソウル大学校ジョイントシンポジウムを開催
- 11 大学入学共通テスト業務に携わる教職員のための未就学児一時保育を実施

## 部局ニュース

- 12 第15回医学研究院連携研究センター研究成果発表会をオンライン開催
- 13 脳科学研究教育センターオンライン研究発表会の開催

## お知らせ

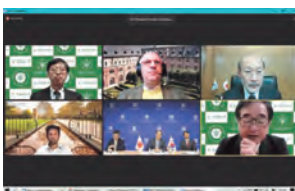
- 14 過半数代表候補者の決定

## 諸会議の開催状況 15

## 学内規定 15

## 訃報

- 16 北海道大学病院医事課係長 渡部 陽一 氏



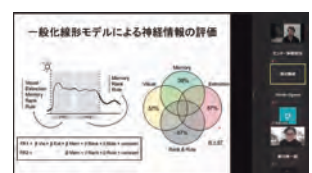
第23回北海道大学ーソウル大学校ジョイントシンポジウムを開催



大学入学共通テスト業務に携わる教職員のための未就学児一時保育を実施



第15回医学研究院連携研究センター研究成果発表会をオンライン開催



脳科学研究教育センターオンライン研究発表会の開催

表紙：大学入学共通テスト第1日程初日の様子（関連記事1頁に掲載）

裏表紙：キャンパス風景⑪ ポプラ並木（北11条西10丁目付近）

# ■全学ニュース

## 大学入学共通テストの実施

令和3年度の大学入学共通テストの第1日程（1月16日（土）及び17日（日））及び第2日程（1月30日（土）及び31日（日））が全国一斉に実施されました。

本学においても、大学入学共通テスト実施体制により、実施本部、総務部、試験場部、救急医療部、連絡部及び広報部を設置し、本学教職員等延べ約1,300人の協力を得て、平穩のうちに終了しました。

全国の志願者は、前年度の大学入試センター試験より22,454人減少し、535,245人でした。

本学が担当する試験場（水産学部試験場、藤女子大学試験場を含む）の志願者数は、昨年の大学入試センター試験より236人少ない4,670人で、各試験場（会場）の受験状況は次のとおりです。

このほか、第2日程の農学部会場及び高等教育推進機構N会場では、第1日程の試験を受験できなかった石狩管内の受験者42人に対し、追試験を併せて実施しました。

（学務部入試課）

### 令和3年度大学入学共通テスト受験状況

日程 教科	1日目										2日目									
	地理歴史、公民		国語		外国語【筆記】		英語【リスニング】		英語【リスニング】 再開テスト		理科①		数学①		数学②		理科②			
	受験者数	欠席者数	受験者数	欠席者数	受験者数	欠席者数	受験者数	欠席者数	受験者数	欠席者数	受験者数	欠席者数	受験者数	欠席者数	受験者数	欠席者数	受験者数	欠席者数		
試験場（会場）名・志願者数																				
北海道大学試験場	農学部会場※	14	8	6	9	5	9	5	9	5			3	11	7	7	5	9	3	11
	人文・社会科学総合教育研究棟会場	689	618	71	647	42	662	27	662	27			12	677	647	42	637	52	626	63
	理学部会場	366	223	143	294	72	314	52	313	53			256	110	311	55	269	97	105	261
	工学部会場	698	584	114	631	67	633	65	630	68			59	639	555	143	509	189	471	227
	高等教育推進機構A会場	837	638	199	675	162	663	174	635	202	1	0	99	738	143	694	57	780	0	837
	高等教育推進機構B会場	850	788	62	803	47	802	48	799	51	1	0	739	111	753	97	710	140	0	850
	保健科学研究院会場	383	218	165	296	87	317	66	315	68	1	0	276	107	315	68	289	94	292	91
	高等教育推進機構N会場	14	9	5	9	5	10	4	10	4			5	9	9	5	9	5	4	10
	藤女子大学試験場	500	434	66	448	52	448	52	445	55			411	89	413	87	382	118	0	500
札幌地区 小計		4,351	3,520	831	3,812	539	3,858	493	3,818	533	3	0	1,860	2,491	3,153	1,198	2,867	1,484	1,501	2,850
			80.9%	19.1%	87.6%	12.4%	88.7%	11.3%	87.7%	12.3%			42.7%	57.3%	72.5%	27.5%	65.9%	34.1%	34.5%	65.5%
北海道大学水産学部試験場	319	279	40	285	34	286	33	286	33			47	272	284	35	277	42	230	89	
合計		4,670	3,799	871	4,097	573	4,144	526	4,104	566	3	0	1,907	2,763	3,437	1,233	3,144	1,526	1,731	2,939
			81.3%	18.7%	87.7%	12.3%	88.7%	11.3%	87.9%	12.1%			40.8%	59.2%	73.6%	26.4%	67.3%	32.7%	37.1%	62.9%

※欠席者には当該教科を「受験しない」と申請し登録していない者も含まれる。  
 ※農学部会場では、第2日程のみ実施した。  
 ※本表は、本学を試験場とする受験者の受験状況であるため、追試験の受験状況は含まない。  
 （他大学を試験場としていた者が追試験を受験する際、本学で実施することもある。）



受験風景

# 北海道大学一般選抜の志願状況

令和3年度の本学一般選抜の志願者は、前期日程5,104名、後期日程3,517名、合計8,621名となり、昨年度と比較すると1,131名減少し、倍率は3.6倍となりました。

入学試験日は、前期日程が2月25日（木）・26日（金）、後期日程が3月12日（金）となっています。

各学部・学科等の志願者数は、次のとおりです。

（学務部入試課）

令和3年度北海道大学一般選抜志願者数

日程	学部・学科等	募集人員	志願者数	倍率	第1段階選抜 予告倍率	前年度 志願者数	前年度 倍率	総合型・国際 総合入試の欠員	変更後の 募集人員	変更後の 倍率					
総合入試	文系	95	312	3.3	4.0	386	4.1	0	95	3.3					
	理系	数学重点選抜群	129	492	3.8	4.0	404	3.1	0	129	3.8				
		物理重点選抜群	233	573	2.5	4.0	659	2.8	0	233	2.5				
		化学重点選抜群	233	550	2.4	4.0	644	2.8	0	233	2.4				
		生物重点選抜群	175	425	2.4	4.0	450	2.6	0	175	2.4				
		総合科学選抜群	247	532	2.2	4.0	531	2.1	1	248	2.1				
計	1,017	2,572	2.5		2,688	2.6	1	1,018	2.5						
前期日程	文学部	118	360	3.1	4.0	361	3.1								
	教育学部	20	66	3.3	4.0	58	2.9								
	法学部	140	348	2.5	4.0	279	2.0								
	経済学部	140	333	2.4	4.0	376	2.7								
	医学部	保健学科	医学科	97	338	3.5	3.5				366	3.8	4	101	3.3
			看護学専攻	60	119	2.0	5.0				144	2.4	3	63	1.9
			放射線技術科学専攻	28	78	2.8	5.0				114	4.1			
			検査技術科学専攻	28	73	2.6	5.0				100	3.6			
			理学療法学専攻	13	28	2.2	5.0				39	3.0			
			作業療法学専攻	13	31	2.4	5.0				34	2.6	0	13	2.4
			小計	142	329	2.3					431	3.0	3	145	2.3
	計	239	667	2.8		797	3.3				7	246	2.7		
	歯学部	38	84	2.2	6.0	110	3.7				1	39	2.2		
	獣医学部	20	88	4.4	6.0	92	4.6								
水産学部	105	274	2.6	4.0	327	3.1	6	111	2.5						
合計	1,932	5,104	2.6		5,474	2.8	15	1,947	2.6						
後期日程	文学部	37	293	7.9	6.0	307	8.3								
	教育学部	10	86	8.6	10.0	87	8.7								
	法学部	40	356	8.9	6.0	438	11.0								
	経済学部	20	171	8.6	10.0	256	12.8								
	理学部	理学科	数学科	13	118	9.1	6.0				99	7.6			
			物理学科	10	99	9.9	6.0				107	10.7			
			化学科	23	136	5.9	6.0				123	5.3			
			生物科学科 生物学専修分野	10	73	7.3	6.0				61	6.1			
			生物科学科 高分子機能学専修分野	5	46	9.2	6.0				53	10.6			
			地球惑星科学科	5	51	10.2	6.0				66	13.2	4	9	5.7
			計	66	523	7.9					509	7.7	4	70	7.5
	医学部	保健学科	放射線技術科学専攻	7	56	8.0	6.0				79	11.3			
			検査技術科学専攻	7	58	8.3	6.0				87	12.4			
			理学療法学専攻	4	30	7.5	6.0				28	7.0			
	計	18	144	8.0		194	10.8								
	薬学部	24	193	8.0	6.0	254	10.6								
	工学部	工学部	応用理工系学科	34	170	5.0					277	8.1	4	38	4.5
			情報エレクトロニクス学科	38	352	9.3					301	7.9			
			機械知能工学科	30	204	6.8					234	7.8			
			環境社会工学科	49	279	5.7					384	7.8	3	52	5.4
計			151	1,005	6.7		1,196	7.9	7	158	6.4				
農学部	53	318	6.0	6.0	487	9.2									
獣医学部	15	80	5.3	6.0	107	7.1									
水産学部	50	348	7.0	6.0	309	6.2									
合計	484	3,517	7.3		4,278	8.7	11	495	7.1						
総計	2,416	8,621	3.6		9,752	4.0	26	2,442	3.5						

注1：「倍率」は、小数第2位を四捨五入。

注2：「第1段階選抜予告倍率」は、当初募集人員に対するもの。

注3：令和3年度入試から歯学部（後期日程）の募集が廃止となりました。「前年度志願者数」「前年度倍率」の合計・総計は歯学部（後期日程）の志願者数を含んだ数値になります。

## 総合型選抜合格者の発表

令和3年度総合型選抜の合格者発表が2月16日（火）に行われ、29名が合格しました。

(学務部入試課)

令和3年度総合型選抜合格者数等一覧

学部・学科等		募集人員	志願者数	倍率	合格者数	
理学部地球惑星科学科		5	20 (2)	4.0	1 (0)	
医学部	医学科	5	8 (0)	1.6	1 (0)	
	保健学科	看護学専攻	7	20 (13)	2.9	4 (4)
		作業療法学専攻	4	9 (2)	2.3	4 (0)
歯学部		5	5 (1)	1.0	4 (1)	
工学部	応用理工系学科 (応用マテリアル工学コース)	4	2 (1)	0.5	0 (0)	
	環境社会工学科 (社会基盤学コース)	4	2 (0)	0.5	1 (0)	
水産学部		20	52 (8)	2.6	14 (2)	
計		54	118 (27)	2.2	29 (7)	

※ ( ) 内の数字は、道内高校出身者で内数

## 国際総合入試合格者の発表

令和3年度国際総合入試のうち、条件付合格者（国際バカロレア資格の取得を条件として合格していた者）の最終合格発表が2月16日（火）に行われ、10名が合格しました。

昨年12月8日（火）に発表された合格者と合わせ、最終合格者は14名となりました。

(学務部入試課)

令和3年度国際総合入試合格者数等一覧

学部・学科等		募集人員	志願者数	倍率	合格者数 (条件付合格者含む)	最終合格者数
総合入試	文系	5	16 (11)	3.2	6 (6) [ 4 (4) ]	5 (5) [ 3 (3) ]
	理系	10	15 (6)	1.5	9 (6) [ 7 (4) ]	9 (6) [ 7 (4) ]
計		15	31 (17)	2.1	15 (12) [ 11 (8) ]	14 (11) [ 10 (7) ]

※ ( ) 内の数字は、女子で内数

※ [ ] 内の数字は、条件付合格者数で内数

# 北大フロンティア基金

北大フロンティア基金は、本学の創基130年を機に、教育研究の一層の充実を図り、これまで以上に自主性・自立性を発揮して大学としての使命を果たすため、平成18年10月に創設しました。

奨学金制度の充実や留学生への支援などの学生支援を中心に、研究支援、学部等支援など様々な事業を行っており、期限を付さない、息の長い募金活動をする事としています。

皆様には基金の趣旨にご賛同いただき、ご協力をお願いします。

北大フロンティア基金情報  
基金累計額（1月31日現在）

28,945件 5,324,484,107円

## 1月のご寄附状況

法人等4社、個人200名の方々から9,060,535円のご寄附を賜りました。

そのご厚志に対しまして感謝を申し上げますとともに、同意をいただいている方々のご芳名、銘板の掲示について掲載させていただきます。（五十音別・敬称略）

### 寄附者ご芳名（法人等）

株式会社 GRAND GIFT, 医療法人財団 幸愷会 石狩幸愷会病院, 公益社団法人 日本アロマ環境協会

### 寄附者ご芳名（個人）

合川 正幸	赤羽 弘充	安達 潤	阿部 弘	阿部 匡樹	網木 啓元	石井 哲夫	井出 肇
伊藤 昭英	伊東 賢	乾 賢	井上 孝俊	井原 博	今井賢一郎	入澤 秀次	岩下 昭義
岩田 顕	上田 諭	上田 英樹	EdelheimJohan	縁記 和也	太田 裕美	大塚 吉則	大野 栄三
大畑 揮義	大原 正範	岡田 智	岡野 勉	奥田 英信	奥野 敏生	小田原一史	加藤 達哉
加藤 弘通	金川 眞行	加納 崇裕	河本 充司	菅野 哲也	菊地 憲孝	菊地 誠	喜多 浩之
木村 成二	木和田広司	工藤 彩乃	工藤 正純	黒岩 麻里	慶長 真澄	小砂 憲一	近藤 伸一
齊藤 晋	齊藤 久	坂本 大介	佐々木秀樹	佐々木義昭	三升畑元基	塩入 奈美	志済 聡子
信濃 卓郎	篠原 岳司	下川部雅英	菅原 新也	杉江 和男	杉野 剛正	鈴木 貴之	鈴木 雅
鷲見 尚己	瀬名波栄潤	千秋 肇	空井 護	高木 淑恵	高木 眞弓	高島 知充	高橋 誠
竹内 義治	竹田 俊明	田中 享	田村 友香	千田 幸子	丁子 卓	土川 陽子	土家 琢磨
土屋 裕	寺澤 睦	道鎮 明晴	十日市一彌	戸田 純子	豊田 威信	中川 徹夫	中島 進一
中塚 英俊	長野 督	中野 清剛	中野 平	西田 実弘	西田 雄二	橋向 律子	花田 秀一
林 由季子	原 誠	BijuVasudevanPillai	平石 慎治	廣瀬 大輔	福士 幸治	福永 悟郎	藤田 秀崇
藤林 玄二	藤丸 俊樹	藤谷 大樹	堀 直子	堀岡 弘二	本間 文佳	前田 博	増山 邦彦
松尾 博朋	松島 一清	松島 治美	松田 健一	松田 康子	松原 謙一	三岡 哲生	水野 宏美
水野 吉広	宮田 信幸	村上 泰一	村上 幸夫	村田 寛葉	山川 智士	山下 憲昭	山本 吾一
山本 浩一	横山 考	吉岡 文	吉川 隆志	吉田 広志	吉村 憲雄	吉本 勝	

**銘板の掲示（20万円以上のご寄附）****（法 人）**

医療法人財団 幸惺会 石狩幸惺会病院, 公益社団法人 日本アロマ環境協会

**（個 人）**

赤羽 弘充, 井原 博, 岩下 昭義, 工藤 正純, 小砂 憲一, 千秋 肇, 平石 慎治, 松尾 博朋, 山下 憲昭

---

**ご寄附のお申し込み方法**

---

北大フロンティア基金ホームページの「教職員の方によるご寄附について」にアクセスして下さい。

<https://www.hokudai.ac.jp/fund/howto-staff.html>

**①給与からの引き落とし**

ホームページから「北大フロンティア基金申込書（兼・給与口座からの引落依頼書）」をダウンロードし、ご記入の上、基金事務室に提出してください。

**②郵便局または銀行への振り込み**

基金事務室にご連絡ください。払込取扱票をお送りします。

**③現金でのご寄附**

寄附申込書に現金を添えて、基金事務室にご持参ください。

申込書は、ホームページから「北大フロンティア基金申込書（教職員現金用）」をダウンロードしてご記入いただくか、基金事務室にもご用意していますので、基金事務室にお越しただいてからご記入いただくことも可能です。

**④クレジットカード決済・コンビニ決済でのご寄附**

北大フロンティア基金ホームページ

(<https://www.hokudai.ac.jp/cgi-bin/fund/bin/xRegist.cgi>) の寄附申し込みフォームから申込をお願いします。

北大フロンティア基金に関する問い合わせ 基金事務室（事務局・学内電話 2017）

## 令和2年度第2回サステイナブルキャンパス推進員会議を開催

サステイナブルキャンパスマネジメント本部（以下、SCM本部）では、12月17日（木）、今年度第2回となるサステイナブルキャンパス推進員会議をオンラインで開催しました。

各部局のサステイナブルキャンパス推進員及び同補佐のほか、SCM本部に関わる教職員、施設部職員等を合わせて75名の出席がありました。SCM本部長の横田 篤理事から開会の挨拶の後、下記の議題についてSCM本部より説明し、その後、質疑応答を行いました。

SCM本部からは、令和2年度冬季の新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮した省エネルギーの取組への協力、サステイナブルキャンパス評価システムASSC（アスク）による本学の令和2年度自己評価への協力、及び今年度の本学保有施設の法令点検での指摘事項に対する対応への協力を要請しました。加えて、本学キャンパスマスタープラン並びにインフラ長寿命化計画に基づく本学の今後の施設整備に係る財源確保の方向性、及び令和4年度施設整備概算要求の基本方針について周知

しました。

質疑応答では、感染症予防を旨とした令和2年度文部科学省補正予算「国立大学法人等施設の衛生環境改善整備」事業に関して、本学の措置状況について質問がありました。

今回は来年度6月下旬に開催の予定です。SCM本部では、来年度以降も引続き、部局等と連携を図りながらサステイナブルキャンパス推進に関する活動を推進する予定です。

（サステイナブルキャンパスマネジメント本部）

### 議題

- 1) 令和2年度冬季の省エネルギーの取組について
- 2) サステイナブルキャンパス評価システムASSCによる令和2年度自己評価の実施について
- 3) 建築物の維持管理について
- 4) 施設整備に係る財源確保の方向性について



横田理事による開会挨拶



小澤丈夫総長補佐・工学研究院教授による閉会挨拶



オンライン会議の様子



## 第23回北海道大学ーソウル大学校ジョイントシンポジウムを開催

11月5日(木)・6日(金)に、ソウル大学校(韓国)と北海道大学のジョイントシンポジウムを開催しました。新型コロナウイルス感染症(COVID-19)拡大の影響を鑑みて、オンラインで開催することとなった今回のシンポジウムは、例年初日に開催していた全体会の代わりに『COVID-19中・後の世界における大学の役割』というテーマの下、両校の大学間協定校である Gent 大学(ベルギー)、メルボルン大学(オーストラリア)を招き、Zoomによる特別フォーラムを行いました。続いて、2日目以降に4部局から5分科会が開催されました。

特別フォーラムでは、ホスト校学長として、本学寶金清博総長、ソウル大学校オ・セジョン学長からの挨拶の後、参加大学からそれぞれの大学でのCOVID-19対策と現状の紹介がありました。続いて、本学横田 篤国際担当理事・副学長から、本学のCOVID-19

対応現状と、その一環として札幌農学同窓会による学生支援の輪と学生発信の活動について紹介があり、ソウル大学校アン・ドゥグン国際担当理事からは、首都圏大学としての政府との連動した取組の紹介やオンライン卒業式等の試みが共有されました。

Gent 大学フレデリック・デ・テッカー国際連携室長からは、ベルギーでは年始すぐに国を挙げたCOVID-19対応を迫られた反面、Gent 大学では教職員の学生支援の意欲が高く、部署を超えての枠組みができあがっている一方、次年度のオンライン・対面のブレンド型教育対応では、さらなる質保証の確保の重要性を指摘しました。

メルボルン大学マイケル・ウェズリー国際担当副学長からは、留学生受入や教職員学生の海外経験、国際共同研究・フィールドワーク、同窓生ネットワークと大学の国際的評価等、それぞれの面におけるCOVID-19の影響を

明文化し、内外で共通認識としていること、他方で、古くは黒死病後のルネッサンスにあるように、パンデミック後の人間の原動力への期待が述べられました。

ソウル大学校チャ・ソグオン国際担当副理事をモデレータとしてのパネルディスカッションでは、視聴者との質疑応答も行われ、参加大学の更なる連携への展望等が語られました。

特別フォーラムと同様にオンラインで開催された各部局主催の分科会では、工学研究院、メディア・コミュニケーション研究院、教育学研究院、歯学研究院の参加教員及び学生による活発な意見交換、情報交換が行われ、成功裏に終了しました。

第24回は令和3年秋に、本学で開催する予定です。

(国際部国際連携課)



特別フォーラムの様子(左上より時計回りに、川野辺創国際連携機構副機構長、Gent 大学デ・テッカー国際連携室長、横田理事・副学長、寶金総長、ソウル大学校アン国際担当理事、オ同校学長、チャ同校国際担当副理事、メルボルン大学ウェズリー国際担当副学長)



メルボルン大学ウェズリー国際担当副学長による講演



寶金総長挨拶の様子

分科会1

# The 9th HU-SNU Joint Symposium on Materials Science and Engineering

第9回材料科学に関する合同シンポジウム／工学研究院 教授 橋本直幸

本合同シンポジウムは、ソウル大学のイ・ミョンギョ教授を窓口とし、今年度は11月6日（金）に北海道大学工学研究院材料科学部門をホストとしてリモート（Zoom）開催されました。本学・ソウル大学双方から計15名の教授・准教授に、ソウル大学・北海道大学の大学院生及び学部生30数名を加えて、計45名以上の参加者数となり、教授陣と大学院生から材料科学に関する最新の研究を紹介しました。今回の発表テーマは、構造材料、生体材料、装置開発、計算科学と幅広く、微視的な視点から詳細に精査した最新の研究が多く見受けられ、各テーマで活発かつ有意義な議論が行われました。一部の研究は、本シンポジウム後に情報交換を行う約束を交わしました。また、今回はリモート開催であるためか、例年

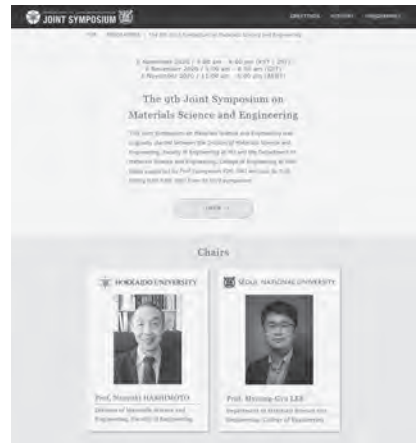
よりも参加者数が多かったように思われます。次年度は、サマースクールの開講を積極的に進める方向で一致して

おり、可能であれば学部生対象のインターンシッププログラムも進める予定です。

（工学研究院）

Time	Program	Speaker
08:30-09:00	Opening	Prof. Naoyuki HASHIMOTO
09:00-10:00	Small-scale and non-destructive analysis on diffusion-lattice transition behavior of pure W using nano-positronium and MC simulation	Mr. Yujun CHOI (SNU) Materials Science and Engineering, SNU
10:00-10:30	Study on micro-structure and high temperature strength of Al <sub>2</sub> O <sub>3</sub> -SiC <sub>3</sub> N <sub>4</sub> nanocomposites of steel	Prof. Hyeon OHA Materials Science and Engineering, HU
10:30-10:45	Research on Bi <sub>2</sub> O <sub>3</sub> -high-entropy alloy for fusion reactor application	Mr. Yun ZONGU (SNU) Materials Science and Engineering, HU
10:45-10:55	Coffee Break	
10:55-11:10	Protonic reaction quantification (PRC-QTEM) analysis for protonic transition metal oxides	Mr. Jaehun PARK (SNU) Materials Science and Engineering, SNU
11:10-11:30	Analysis of R2 = 1.01 two-phase region in XAl <sub>2</sub> (X = Fe, Co, Ni) Ni alloys using first-principles cluster expansion method	Prof. Joo YAMAZAKI Materials Science and Engineering, HU
11:30-11:30	Growth condition dependency of primary dendrite arm spacing on Al-Cu	Mr. Junwon LEE (SNU) Materials Science and Engineering, HU
11:30-11:30	Lunch	
11:30-11:30	Development of new cell detachment methods based on a cell-attached phenomenon and cell study using the method	Dr. Jaehoon PARK Materials Science and Engineering, SNU
11:30-11:30	Atomic-Scale Analysis of Oxygen Storage Materials Using STEM-EDS and First-principles Calculation	Prof. Yujin KIM (SNU) Materials Science and Engineering, HU
11:30-11:30	Synthesis of the Cu <sub>2</sub> amorphous and its Hydrogen Adsorption Property	Mr. Sun ANJANG (SNU) Materials Science and Engineering, HU
11:30-11:30	Coffee Break	
11:30-11:30	Systematic study of electron-beam-irradiated plasticity for amorphous SiC <sub>3</sub> N <sub>4</sub> nanowires/cylinders	Prof. Hyeon OHA Materials Science and Engineering, SNU
11:30-11:30	Study on Cu-containing High Entropy Alloys for Nuclear Fusion Application	Mr. Yujin KIM (SNU) Materials Science and Engineering, HU
11:30-11:30	Systematic evaluation of Cu-containing FCC high entropy alloys under shear, plasticity	Mr. Sun ANJANG (SNU) Materials Science and Engineering, HU
11:30-11:30	Closing	Prof. Naoyuki CHOI, MSc, SNU

分科会プログラム



分科会情報公開

分科会2

# “Workshop in the field of Nuclear Thermal-hydraulics” Joint symposium between SNU-HU 2020

原子力熱流動工学分野におけるワークショップ／工学研究院 准教授 三輪修一郎

本分科会は、原子力工学分野におけるソウル大学と北海道大学の情報交換と交流を目的として行いました。今回で23回目を迎える合同シンポジウムですが、原子力工学分野に関わる分科会が開催されるのは2回目となります。本年度は、原子力熱流動工学（Nuclear Thermal-hydraulics）分野を対象とし、ソウル大学のチョ・ヒョンキュ准教授を窓口としてZoom開催されました。

ソウル大学から2名、北海道大学から2名の教員が参加し、原子力熱流

動の最先端のアクティビティが紹介されるとともに、学生セッションでは各校からそれぞれ4名の学生が研究発表を行いました。また、ゲスト講演として韓国原子力研究員（KAERI）のユン・ハンヨン博士に参加頂き、多次元シミュレーション技術の最先端と世界的動向についてご紹介頂きました。本セッションにおける研究テーマは従来の熱水力基礎実験に加え、多次元数値解析や、熱工学と人工知能技術の融合等、多岐に渡る研究成果が発表され、有意義な研究討議が行われまし

た。コロナ禍において多くの国際会議が延期となり、対面での交流が難しい中、英語での研究発表や質疑対応は北大生にとっても良い刺激となったようでした。

来年度は改めて北大が本シンポジウムのホストとなりますが、新型コロナウイルスが早期に収束し、より活発な研究討議が行えるよう願ってやみません。

（工学研究院）

分科会3

Reinterpreting Korean Wave in Japan: from Contemporary and Global Perspectives

日本の韓流を読み直す：同時代性及びグローバルな視点から／メディア・コミュニケーション研究院 准教授 金 成玟

本分科会は、12月11日（金）に、ソウル大学校－北海道大学合同セミナーとして開催しました。新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、YouTubeでのリアルタイム配信という形をとった本セミナーは、ソウル大学校日本研究所所長の金 顕哲教授の挨拶から始まり、同研究所金 孝真准教授と北海道大学金 成玟准教授の研究発表を主軸とし、多くの研究者、学生他視聴者の意見を受け付けました。新型コロナウイルス感染症の拡散によ

り、両国間の移動と人的交流が難しい状況が続く中、このような文化交流に関する研究が持つ学術的かつ社会的インパクトを確認する場になりました。コロナ禍がどうかに関わらず、時間的・空間的制約なしに参加し易いYouTube配信という形は、今後の分科会の新たな形と思われました。今後の持続可能な共同研究の方法についても考えていきたいとの結論に達しました。

(メディア・コミュニケーション研究院)



分科会放映風景1



分科会放映風景2



イベントポスター

分科会4

# HU-SNU-NTNU-KU 2020 joint session

## Future course of HU-SNU-NTNU-KU joint symposium and research collaboration

HU-SNU-NTNU-KU 2020 ジョイントセッション  
 HU-SNU-NTNU-KU ジョイントシンポジウムと共同研究の将来像 / 教育学研究院 教授 大野栄三



Zoom版集合写真

本分科会は4つの大学が持ち回りで開催しており、2017年度はソウル国立大学（SNU）、2018年度は台湾師範大学（NTNU）、2019年度はカセサート大学（KU）が会場でした。今年度は北海道大学（HU）が会場の予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえてオンラインのみの参加とし、台湾とタイとの時差を考えて、1月6日（水）、7日（木）の午後3時から午後5時30分（日本時間）に開催しました。SNUとKUからそれぞれ

10数名の学生の参加があり、1日目はSNU、KU、HUからの学生発表（4件）、2日目はSNU、NTNU、KUの学生と教員による発表（5件）と討論を実施しました。Web会議の開催でしたが、質疑応答時間に複数の質問がチャット上に同時に発せられるなど、学生の活発なやりとりがありました。2日目の最後には、ブレイクアウトルームとして、教員のみで将来像を協議するルームと学生が交流するルームを設定しました。学生たちのブレイクアウト

ルームでは、COVID-19下での各国の教育事情が話題になったようです。教員のブレイクアウトルームでは、Web会議を利用して、4大学の教育プログラムを相互に柔軟に活用するアイデアが話し合われました。具体化に向けて、検討していきたいと考えています。

（教育学研究院）



オーラル・プレゼンテーション



パラレル・ディスカッション（教員）

分科会5

## Current topics of dentistry

歯学分野におけるカレントトピックス／歯学研究院長 八若保孝

1月28日（木）に、歯学としては第3回目となる分科会を開催しました。

本分科会は、ソウル大学校歯学部 of チョン・シネ准教授とライアン・ジンヨン・キム助教、本学歯学研究院の渡邊 裕准教授と坂口 究助教の計4名による研究発表が行われ、急速に進展する高齢化社会や現在直面している新

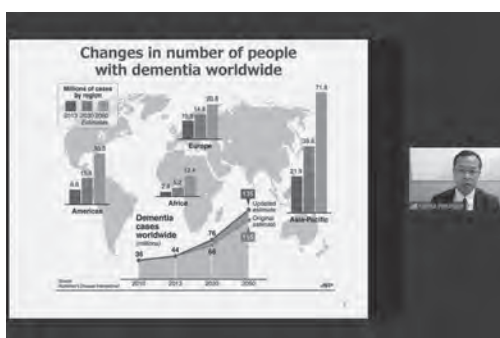
型コロナウイルス感染症の問題等に対し、歯科の分野でどのように貢献していけるかなどについて、活発な意見交換がなされました。

今回は、新型コロナウイルス感染症の影響でオンラインによる開催となり、直接往来をしての交流は叶いませんでしたが、両校の教員、大学院生を

中心に100名を超える参加があり、非常に有意義なシンポジウムとなりました。

今後も、本分科会をはじめとした両学部等の交流を継続し、教育・研究の連携をより一層進めていく計画です。

（歯学研究院）



渡邊准教授による研究発表



チョン准教授と参加者の意見交換

## 大学入学共通テスト業務に携わる教職員のための未就学児一時保育を実施

本学は、ダイバーシティ研究環境推進のための取組を進めています。この取組の一環として、人材育成本部ダイバーシティ研究環境推進室では、1月16日（土）及び17日（日）に行われた大学入学共通テスト業務において休日出勤を行う教職員を対象に、養育する未就学児の預かり保育を実施しました。前年12月に学内周知を行い、3名

の教員（男性1名、女性2名）より申し込みがありました。

両日ともに午前7時から午後7時まで、人材育成本部会議室にて、保育士4名により、2歳から5歳までののべ4名の保育が行われました。利用者からは、保育園が休みとなる日曜日に対応していただき助かった、等の反応がありました。

2021年度も引き続き入試保育支援を実施する予定です。

部局への通知、または当ダイバーシティ研究環境推進室のWebサイトをご確認ください。

（人材育成本部）



一時保育中の様子

## ■ 部局ニュース

# 第15回医学研究院連携研究センター研究成果発表会をオンライン開催

医学研究院では、1月13日（水）に第15回医学研究院連携研究センター研究成果発表会、オンラインにて開催しました。

本センターは、長期的展望に基づいて堅実な知を追求する基盤的研究と、目標と期間を設定して先端的・革新的な研究開発を目指す戦略的研究の融合を図ることを目的として、平成18年4月1日に設置された学際的研究拠点です。これまで、大型研究プロジェクト

を中心として多彩な研究活動が展開され、医学・生命科学与理工学の融合領域において、世界をリードする数多くの研究成果が得られています。

今年は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、会場での開催を断念し、代わりにZoomによるオンライン開催となりました。

今回の研究成果発表会では、常時50名程度の参加があり、センターの各分野から最新の情報が提供されました。

また、特別講演として、慶應義塾大学医学部 安井正人教授による「アクアポリンと脳水流のダイナミクス」と題した講演を行いました。参加者にとって、今後の取り組みに向けた新たな可能性が示唆された研究成果発表会となりました。

(医学研究院)



スケジュール



講演する安井教授

# 脳科学研究教育センターオンライン研究発表会を開催

脳科学研究教育センターでは、12月15日（火）発達脳科学専攻履修生によるオンライン研究発表会を行いました。例年は北広島クラッセホテルにおいて1泊2日の合宿研修を行っていましたが、今年度は新型コロナウイルス感染症（COVID-19）拡大防止のため合宿研修は取りやめ、代わりにZoomミーティングを利用したオンラインの発表会となりました。

発表会には、渡邊雅彦センター長をはじめ、文学、教育学、理学、生命科学、医学、薬学、保健科学の各研究院・学院・学部属する基幹教員15名、大学院生16名（うち発表者は11名）、その他9名、事務職員1名の合計41名が参加しました。

発達脳科学専攻履修生による研究発表はⅠ～Ⅲのセッションに分け、それぞれ3～4名の大学院生が質疑込み15分の持ち時間で発表を行いました。

Zoomの画面共有機能を利用してスライドを発表し、その後質疑の時間を取りましたが、今回は発表中にもチャット機能で質問することもできたので、時間いっぱいまで活発な質疑応答がありました。今回はオンラインということもあり、学部生も含めて発達脳科学専攻履修者以外の学生も聴講できたため、履修生が様々な分野の脳科学研究の理解を深めるだけでなく、脳科学研究教育センターの活動や履修生の研究成果を学内に発信することができました。

また、センターが提供する大学院共通科目や学部生の一般教育科目について、今年度は特にCOVID-19のためにオンライン形式の講義になったことについての意見交換を行いました。さらに発表会終了後のアンケートでは、オンライン講義について学生側からの様々な意見を聞くことができ、教員に

とっても大変有意義なものとなりました。

今年度は、オンライン研究発表会となってしまいましたが、合宿研修はともすると所属研究室の研究テーマや実験手法のみに偏りがちな大学院教育を、分野の垣根を越えて融合させることを目指す本センターの最も重要な活動の一つとなっています。終了後のアンケートでも「現状ではオンラインでも仕方がないが、来年の発表会はやはり合宿形式でやりたい」という要望が多数寄せられました。

一日も早くCOVID-19の感染が収束し、再び合宿研修を行って、懇親会も含めて部局を越えた学生と教員が交流できるようになることを祈ります。

（脳科学研究教育センター）



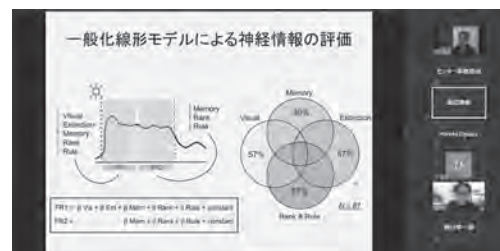
発表の様子①



発表の様子②



発表の様子③



発表最優秀賞を受賞した発表の様子

## ■お知らせ

### 過半数代表候補者の決定

札幌キャンパス事業場（病院を除く。）における過半数代表候補者は、以下のとおり決定いたしました。

（総務企画部人事課厚生労務室）

職種・系区分		過半数代表候補者		
教 員	文系	（文学研究院）	瀬名波 栄 潤	
	理 系	理学研究院	（理学研究院）	山 本 夕 可
		工学研究院・情報科学研究院	（工学研究院）	深 澤 達 矢
		上記以外の理系	（地球環境科学研究院）	山 田 幸 司
	医系	（保健科学研究院）	宮 島 直 子	
附置研究所・研究センター系	（電子科学研究所）	佐 藤 讓		
職 員（教員を除く）		（歯学事務部）	秋 永 崇 裕	
		（総務企画部）	足 利 誠	
		（理学・生命科学事務部）	岡 坂 直 寛	
特任教員・契約・短時間勤務・嘱託職員		（高等教育推進機構）	肖 蘭	
		（遺伝子病制御研究所）	山 口 桂	



## ■ 諸会議の開催状況

### 役員会（令和3年1月6日）

- 議案・多様なステークホルダーとの連携協定について
- ・Microsoft及びAdobeの契約更新に伴う部局負担額の値上げについて
- 報告事項・会計検査院による令和元年度決算検査報告について
- ・令和3年度運営費交付金等（予定額）について
  - ・令和元年度に係る業務の実績に関する評価の結果について

### 経営協議会（令和3年1月19日）

- 議題・中期目標・中期計画の変更について
- ・国立大学法人ガバナンス・コードにかかる適合状況の報告について
  - ・経営協議会の活性化について
- 報告事項・令和3年度運営費交付金等（予定額）について
- ・指定国立大学法人申請要件の充足及び客観・共通指標の改善に向けた本学の取組について
  - ・未来戦略本部の設置について
  - ・令和2年人事院給与勧告について
- その他・「北海道大学財務報告書2020」について

### 教育研究評議会（令和3年1月20日）

- 議題・中期目標・中期計画の変更について
- 報告事項・学生の停学の解除について
- ・令和3年度運営費交付金等（予定額）について
  - ・令和4年度概算要求の基本方針について
  - ・指定国立大学法人申請要件の充足及び客観・共通指標の改善に向けた本学の取組について
  - ・産業創出講座等の設置（更新）について
  - ・寄附講座等の設置及び更新について
  - ・令和元年度に係る業務の実績に関する評価の結果について
  - ・教員の懲戒について

### 役員会（令和3年1月25日）

- 議案・中期目標・中期計画の変更について
- ・科学技術イノベーション創出に向けた大学フェローシップ創設事業の申請について
  - ・デジタル活用教育高度化事業「デジタルを活用した大学・高専教育高度化プラン」の申請について
- 協議事項・全学運用教員の措置について
- 報告事項・令和2年度運営費交付金の追加配分等について

※規程の制定、改廃については、「学内規程」欄に掲載しています。

## ■ 学内規程

### 北海道大学中国医学研修員規程を廃止する規程

（令和3年1月7日海大達第10号）

公益財団法人日中医学協会の奨学金制度が変更され、同協会が実施していた中国医学研修員の招致事業が平成29年6月をもって終了したことに伴い、所要の定めを行ったものです。

### 北海道大学中国・人材育成事業研修員規程を廃止する規程

（令和3年1月7日海大達第11号）

中国政府が国際協力機構の支援の下に実施していた中国・人材育成事業が平成27年12月をもって終了したことに伴い、所要の定めを行ったものです。

## 訃報

北海道大学病院医事課係長

わたなべ よういち  
渡部 陽一 氏  
(享年49歳)



北海道大学病院医事課係長の渡部陽一氏は、病氣療養中のところ令和3年1月17日にご逝去されました。

同氏は、昭和46年3月1日北海道帯

広市に生まれ、北海道情報大学をご卒業し、平成6年4月北海道大学工学部に文部事務官として採用されました。その後、農学部、医療技術短期大学部、大学院地球環境科学研究科を経て、平成16年4月に同総務係主任に昇任、環境科学事務部総務係主任、北海道大学病院総務課労務管理係主任を経て、平成21年4月には、国立日高青少年自然の家総務係長に昇任されました。

平成24年4月に北海道大学へ戻られた以後は、工学系事務部総務課係長、研究推進部産学連携課係長、北海道大学病院総務課係長を経て、令和2年4月から現職に就かれ、在職中は、総務系、研究協力系、医療事務系と幅広い

業務に従事し、その経験と知識を遺憾なく発揮されました。

同氏は、温和で朗らかな人柄で周囲を和ませ、何事にも真摯に取り組み、今後の活躍が大いに期待されるころでしたが、現職への異動と同時に、入院加療・自宅療養をすることとなり、職場復帰への強い意欲とご家族の献身的な看護のもと、病と懸命に闘っていましたが、その甲斐もなくご逝去されましたことは、誠に惜しまれてなりません。

長年にわたるご苦勞とご功績を偲び、ここに謹んで心より哀悼の意を表します。

(北海道大学病院)

## 編集メモ

---

- 大学入学共通テストの第2日程が第1日程に続き1月30日（土）、1月31日（日）の2日間にわたって行われました。本学を会場として行われた試験では、第1日程同様、大きなトラブルもなく無事終了しました。



前日には雪が降りましたが、当日は公共交通機関の遅れ等はありませんでした。

## 裏表紙メモ

---

北海道大学のキャンパスの風景を様々な角度からご紹介する「キャンパス風景」。

2月号は冬空に伸びるポプラ並木です。ぐんと空に向かって伸びるポプラ並木の影は青白い雪に映って線路のようにも見えますね。誰かが歩いた跡が良い仕事をしています。

## キャンパス風景 11 ポプラ並木 (北11条西10丁目付近)



北大時報 ② No.803 令和3年2月発行

北海道大学総務企画部広報課 〒060-0808 札幌市北区北8条西5丁目

TEL : (011) 706-2162 / FAX : (011) 706-2092 / E-mail : kouhou@jimuhokudai.ac.jp

北大時報はインターネットでもご覧いただけます。 <https://www.hokudai.ac.jp/pr/publications/jihou.html>